吉田南中だより

令和４年１１月２４日
鹿児島市立吉田南中学校

１２月の主な行事

１２月					
日	曜	行　事　内　容	日	曜	行　事　内　容
2	金	１・２年学年学級ＰＴＡ	15	木	３年集金日
5	月	第２回お弁当の日	16	金	学級専門部会　２年クラスマッチ
6	火	特別朝会（キャリア教育）	17	土	門松作り（家庭教育学級／おおばるセミナー）
7	水	芸術鑑賞会⑤⑥	20	火	学年朝会　１年生クラスマッチ
10	土	土曜授業　３年生進路学習①②	21	水	３年生クラスマッチ
		第１回ＰＴＡフェスタ（午後）	22	木	生徒会専門委員会
13	火	全校朝会　１年集金日	23	金	終業式　大掃除　地域生徒会
14	水	情報モラル出前授業　２年集金日			～　１／９（月）　冬期休業

３年生入試説明会・下級生上級学校説明会

11月18日に，中学３年生と保護者に向けて入試説明会を行いました。私立高校の出願方法が大きく変わってきた（ｗｅｂ出願）ことなど，気を付けたい点を確認しました。３年生がいよいよ自分の人生を自分でつかみ取る時期に来ました。学校全体でサポートしていきたいと思います。

また，同日には１・２年生を対象に上級学校説明会が開催されました。一般的には３年生に向けてすることが多いですが，本校では下級生に向けても実施しています。「高校とは」，「進路とは」と考える機会をもってもらうことが目的です。樟南高校，鹿児島情報高校の先生方・生徒さんをお招きして出前授業が行われました。高校の専門的な学習の内容に，いい刺激をいただきました。

夢を持つ大切さ　＜第１回スクールドリームプラン＞

11月12日（土）に７月に悪天候による休校で実施できなかった「第１回スクールドリームプラン」が実施されました。この活動は，外部講師の講演を聞いたり，活動を紹介させていただいたりする中で，夢をもつことの大切さを生徒それぞれが感じ取り，自分の毎日を振り返ったり，新しいことにチャレンジしたりする気概を養いたいという思いで始めた活動です。第１回は市民参加型音楽劇「空に歌えば（通称『ソラウタ』）」の代表者上片平奈々さんとキャストやピアニストの皆さんをお招きして，上片平さんが市民に広く呼びかけて，ミュージカルを始めたきっかけや，日々大切にしていること，子供の夢を応援していることなどをお話しいただいた後，劇の一部を歌と動きで紹介してくださいました。

＜上片平さんの『マイルール』＞
① 直観でもいいから，いいと思ったこと，やってみたいと思ったことをやってみる。
② 自分のことを大事にしてくれる人を大事にする。負のオーラを気にしない。
③ できないことは，まわりに頼る。分からないことやできないことは，みんなで乗り越える。
④ まわりからの意見はいったん受け入れる。
⑤ まずは，自分が幸せでいること。自分のことは自分で幸せにする。そのために，プラスの言葉を口にする。

合唱コンクール開催

昨年度は苦渋の決断で中止となった合唱コンクール。今年は保護者の入れ替えをせずに，久しぶりに実施することができました。一・二年生にとっては初めての，そして三年生にとっては最後のコンクールで，毎日時間を見つけては一生懸命に練習する姿が印象的でした。三年生は最上級生らしく声質やハーモニーがすぐれていました。２年２組は２年生代表として春の祭典に臨みます。素敵な歌声をありがとう！！

最優秀賞　３－２

優秀賞　３－１

奨励賞　２－２

１－１

１－２

２－１

ヒットを打つにはへそで打つ？！　　校長　塚元　宏雄

宇津木妙子さんという方がおられます。オリンピックで日本女子ソフトボールチームに金メダルを取らせた方です。

私は，かつてこの方が学校訪問をされるにあたり，同僚と公用車で送迎する業務をしたことがあります。その道すがら，私は宇津木さんに次のような質問をしてみました。

「私の息子が，中学校で野球部なのですが，何かヒットを打つコツのようなものがあるでしょうか？」。すると，宇津木さん，「へそで打つような感覚でバットを振るといいのですよ」という答えをいただきました。

実は，宇津木さんは，男優で歌手の福山雅治さんと，ソフトボールを介して親交があるという話を聞いたことがありました。映画「容疑者Xの献身」において，福山さん演じる物理学者の湯川教授が「へそで打つ」ということに対して，福山さんが「ありえない。（中略）」と解説を述べるシーンがあります。

私は，その映画を事前に視聴しており，また，テレビで宇津木さんと福山さんが親交のあることを知っていたので，映画の「ヒットを打つにはへそで打つ」が，この二人の談義の中から生まれた内容ではないかと勝手に思うことでした。

後日，記念ボールと書籍が送られてきたので，思い切って，お礼状に「ヒットを打つにはへそで打つ」という話が映画でも出ていたということをはがきに書いてみました。

「おへそで打つは」は，物理学的には正しくないのかもしれませんが，感覚的には人によっては，ピタッと来るイメージなのかもしれません。言葉のイメージは大切だなぁと改めて思うことでした。言葉のイメージで，体も動きます。

（参考：映画「容疑者Xの献身」2008年）